

(様式第1号)

コンクリート工事施工計画書

平成 年 月 日

株式会社 ジェイネット
確認検査員 様

工事監理者 印

工事施工者 印

工事名称						
建築場所						
建築主	氏名		TEL			
	〒	住所				
設計者	氏名		TEL			
	〒	住所				
工事監理者 住所 氏名 TEL	研修登録番号()		工事監理者 実務者 住所 氏名 TEL	研修登録番号()		
工事施工者 住所 氏名 TEL	研修登録番号()		工事施工 管理実務者 住所 氏名 TEL	研修登録番号()		
建築確認 年月日番号	平成 年 月 日 第 号					
建築物の概要	敷地面積	m ²		建築面積	m ²	
	階数	地上階 地下階	階 階	主要用途	構造	
かぶり厚さの 最小値 (cm)	部位	土に接しない部分			土に接する部分	
	柱	屋外		屋内		
	屋根版	屋外		屋内		
	床版	下端		上端		
	梁	屋外		屋内		
	耐力壁	屋外		屋内		
非耐力壁	屋外		屋内			
外部仕上げの 種類・工法等						

(様式第1号 裏面)

使用材料	セメント		品名・種別			混和材料					
	レディーミクストコンクリート			製造会社及び工場名			工事現場までの距離・所要時間				
	番号	打設部位	打設時期	コンクリートの種類	設計基準強度 (N/mm ²)	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	空気量 (%)	水セメント比 (%)	単位水量 (kg/m ³)	細骨材率 (%)
調査計画	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
打込計画	調合計画番号	1	2	3	4	5					
	打込箇所										
	打込年月日										
	打込容積(m ³)										
	打込方法										
	予定試験回数										
	容積計	普通	m ³			軽量	m ³			合計	m ³
コンクリート劣化対策	塩化物量の予測						塩害対策 (有・無)				
	() 0.30kg/m ³ 以下						() 調合 (W/C %, スランプ cm)				
	() 0.30kg/m ³ を超え0.60kg/m ³ 以下						() 防錆剤 ()				
	() 0.60kg/m ³ を超える						() 床下端の鉄筋のかぶり厚さ cm				
	() その他 ()						() その他 ()				
塩害の要因 (有・無)						アルカリ骨材反応対策 (有・無)					
() 海砂						() 無害骨材の使用					
() 混和剤						() 低アルカリ形セメントの使用					
() 練り混ぜ水						() アルカリ総量 kg/m ³					
() その他 ()						() 混合セメントの使用					

(様式第2号)

コンクリート工事監理報告書

平成 年 月 日

株式会社 ジェイネット

確認検査員 様

コンクリート工事に関する監理報告書を提出します。この監理報告書は事実に相違ありません。

研修登録番号

工事監理者() 印

研修登録番号

工事施工者() 印

工事期間	年 月 日 ~ 年 月 日					
工事名称						
建築場所						
建築主	〒 住所 氏名					
設計者	()級建築士()登録第()号 氏名 TEL					
工事監理者	()級建築士()登録第()号 氏名 TEL					
工事施工者	〒 建設業許可 第()号 住所 氏名 TEL					
建築確認番号 年 月 日	年 月 日 第 号					
建築物の概要	敷地面積	m ²		建築面積	m ²	
	階数	地上階 地下階	階 階	主要用途	構造	
かぶり厚さの 最小値 (cm)	部位	土に接しない部分			土に接する部分	
	柱	屋外		屋内		
	屋根版	屋外		屋内		
	床版	下端		上端		
	梁	屋外		屋内		
	耐力壁	屋外		屋内		
非耐力壁	屋外		屋内			
外部仕上げの 種類・工法等						

(様式第2号 裏面)

使用材料	セメント	品名・種別・製造工場				混和材料			
材料	レディーミクスコンクリート		製造会社及び工場名				使用ポンプ車の圧送能力		
打込結果	調合計画番号		1	2	3	4	5		
	打込箇所								
	打込年月日								
	コンクリートの種類								
	設計基準強度(N/mm ²)								
	呼び強度								
	スランプ(cm)								
	空気量(%)								
	注)①又は②を記入		7日						
	圧縮強度(N/mm ²)		28日						
	試験所名								
	塩化物量測定結果(kg/m ³)								
	使用塩化物量測定器								
考察	強度試験結果について				塩化物量測定結果について				
	アルカリ骨材反応対策について				その他(材料の品質、不具合の処置等)				

注) 圧縮強度①:標準養生供試体圧縮強度

圧縮強度②:現場水中養生供試体圧縮強度又はコア供試体圧縮強度(56建告第1102号)

(添付図書) 1. コンクリート調合報告書

2. 第6の別表にかかげるコンクリート試験結果報告書

3. その他

(別表)

試験									業務	
試験名	材料	試験項目	試験方法	試験材令	試験回数	試料採取	その他	試験の実施者	工事監督者	工事施工者
骨材試験	普通骨材	1 絶乾密度 ・吸水率 ・粒度	JIS A1109 JIS A1110 JIS A1102	-	コンクリート工事開始前 1回 工事中 1回/月	レディーミクストコンクリート工場の骨材置場	試料の採取は指定試験所又は工事施工者等による	指定試験所 5 試験結果の工事施工者等への報告	1) 試料採取に立会い	1) 試料の採取及び試験体の作成
		2 アルカリシリカ反応	JIS A5308 2 JIS A1145 2 JIS A1146 2	-	指示による				2) 指定試験所へ搬入する試料の確認	2) 試料の指定試験所への搬入
コンクリート試験	まだ固まらないコンクリート	3 スランプ	JIS A1101	-	1回/日 かつ 1回/ 150m3	荷卸し地点		工事施工者等	3,4,5,6,7の試験の実施に立会い	3) 3,4,5,6,7の試験の実施
		4 空気量	JIS A1116 JIS A1118 JIS A1128	-						
		5 単位容積質量(軽量コンクリートのみ)	JIS A1116	-						
		6 温度	温度計による	-						
	7 塩化物量	JASS 5T-502	-					4) 試験結果の整理・保管	4) 試験結果の工事監督者等への報告	
	硬化したコンクリート	8 構造体コンクリートの強度推定のための圧縮強度	JASS 5T-603	7日及び28日	同上	同上	現場水中養生を励行すること	指定試験所 5	6) 試験結果の建築主事又は確認検査員への報告	
		9 コア供試体の圧縮強度	JIS A1107	指示による				3 試験結果の工事施工者等への報告 4		

- 1 建築主事又は確認検査員の指示のある場合に行う。
- 2 工事に支障をきたすと判断される場合には、早期判定試験によって試験を行ってもよい。
- 3 場所打ちコンクリート杭などの地中のコンクリート構造物に用いるコンクリートの養生方法は、標準水中養生としてもよい。
- 4 試験結果が法令で定められた所要の性能を満たさない可能性がある場合には、その情報を速やかに工事監督者等又は工事施工者等へ報告すること
- 5 指定試験所

(1) (財) 日本建築総合試験所 (本所及び試験室)	本所 加古川試験室 神戸試験室	吹田市藤代台5丁目8-1 加古川市別府町新野辺字畑下131 神戸市中央区港島南町3-3-7	TEL (06)6384-0561 TEL (0794)35-5811 TEL (078)304-0001
--------------------------------	-----------------------	---	---
- (2) その他特に知事が認める機関